

研修 機 関 情 報	法人情報	法人格・法人名称	学校法人 二階堂学園
		住所	東京都世田谷区北烏山 8 丁目 19 番 1 号
		代表者名	理事長 小林 敬治
	研修機関 情報	事業所名称	日本女子体育大学附属二階堂高等学校
		住所	東京都世田谷区松原 2 丁目 17 番 22 号
		電話番号	高等学校代表：03-3322-9151 保健福祉コース直通：03-3322-9152
		理念	個性の育成と共に社会有為の女性を養成する
		学則	※別紙 1「学校法人二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂高等学校 介護職員初任者研修（通学）学則」
	研修施設、設備	※別紙 2「会場見取り図」	
	在籍講師数	本校福祉科教員 1 名、研修講師（兼任）10 名、 実習巡回教員 8 名	
研修 事 業 情 報	研修の 概要	対象	日本女子体育大学附属二階堂高等学校 保健福祉コース 2 年生
		研修の スケジュール	期間：平成 31 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日 日程：※別紙 3「研修日程表」
		定員	30 名、1 講座開講
		実習の有無	実習あり（介護実習・ホームヘルプサービス同行訪問）
		研修受講までの 流れ	募集開始：平成 31 年 4 月 1 日 研修開始日までにテキストを購入すること。
		費用	実習費 6,000 円、テキスト代 6,600 円 ※研修講師料は、授業料の一部を充てる。
	留意事項	1 年間、欠席をせずに、全講義を受講すること。	
	研修 カリキュ ラム	科目別シラバス	※別紙 4「研修カリキュラム表」
	修了評価	修了評価の方法	※学則に記載
実績情報	過去の研修実施 回数	平成 27 年度 2 回実施 / 平成 28 年度 1 回実施 平成 29 年度 1 回実施中 ※訪問介護員養成研修 2 級課程は平成 14 年度～24 年度実施。	
	研修修了者数	平成 28 年度 34 名修了 / 平成 29 年度 33 名修了 平成 30 年度 25 名受講中	
連絡先等	申し込み	本校教員	
	法人の苦情対応者 名・役職・連絡先	※苦情対応はすべて事業所（高等学校）で行います。	
	事業所の苦情対応 者名・役職・連絡 先	日本女子体育大学附属二階堂高等学校 保健福祉コース長 中川 滝雄 電話 03-3322-9152	

学校法人 二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂高等学校

介護職員初任者研修（通学）学則

（事業者の名称・所在地）

第1条 本研修は、次の事業者が実施する。

学校法人 二階堂学園

東京都世田谷区北烏山8丁目19番地1号

（目的）

第2条

当法人の「個性の育成と共に社会有為の女性を養成する」という理念を生かし、福祉を通して社会に貢献できる生徒を育てる。

（実施形式）

第3条 前条の目的を達成するために、次の研修事業（以下研修という。）を実施する。

介護職員初任者研修課程（通学形式）

（研修事業の名称）

第4条 研修の名称は次のとおりとする。

学校法人 二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂高等学校

介護職員初任者研修事業（通学）

（年度事業計画）

第5条 平成31年度の研修事業は、次の計画のとおり実施する。

区分	実施期間	募集定員
第1回	平成31年4月～平成32年3月	30名
合計		30名

（受講対象者）

第6条 受講対象者は次の者とする。

学校法人 二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂高等学校

保健福祉コース2年在学者

（研修参加費用）

第7条 研修参加費用は次のとおりとする。（金額は全て税込み。）

区分	内訳	金額	研修参加費用合計	納付方法	納付期限
第1回	受講料	67,400円	80,000円	一括納入	受講開始前日まで
	実習謝礼	6,000円			
	テキスト代	6,600円			

(使用教材)

第8条 研修に使用する教材は次のとおりとする。

区分	テキスト名	出版社名
第1回	『介護職員初任者研修課程テキスト』	日本医療企画

(研修カリキュラム)

第9条 研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは、別紙「研修カリキュラム表」のとおりとする。

(研修会場)

第10条 前条の研修を行うために使用する講義及び演習会場は、別紙「研修会場一覧」のとおりとする。

(担当講師)

第11条 研修を担当する講師は別紙「担当講師一覧」のとおりとする。

(実習施設)

第12条 実習は別紙「実習施設一覧」の施設において実施する。

(募集手続)

第13条 募集手続きは次のとおりとする。

平成31年4月10日までに申込用紙に必要事項を記入の上、申し込む。

(科目の免除)

第14条 科目の免除についてはこれを認めない。

(修了の認定)

第15条 修了の認定は、第9条に定めるカリキュラムを全て履修し、次の修了評価を行った上、修了認定(成績)会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

(1) 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。

(2) 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。

(3) 認定基準は、次のとおり、理解度の高い順にA, B, C, Dの4区分で評価した上で、C以上の評価の受講者を評価基準を満たしたものとして認定する。評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準(100点を満点とする)

A=90点以上、B=80~89点、C=70~79点、D=70点未満

(研修欠席者の扱い)

第16条 理由の如何にかかわらず、研修開始から10分以上遅刻した場合は欠席とする。また、やむを得ず欠席する場合は必ず「欠席届」を提出する。

(補講の取扱い)

第17条 研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、補講を行うことにより当該科目を修了したものとみなす。ただし、補講にかかる受講料については、他の事業者が定める金額によることとし、受講者の負担とする。

原則として、補講できる単位は「項目」であるが、「科目」の内容(実施方法含む。)及び時間数が同一の場合は、「科目」ごとに補講できるものとする。

(受講の取り消し)

第18条 次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みが無いと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した者
- (3) 学校法人 二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂高等学校を退学した者

(修了証明書の交付)

第19条 第15条により修了を認定された者には、当法人において東京都介護職員初任者研修事業実施要綱9に規定する修了証明書及び修了証明書(携帯用)を交付する。

(修了者管理の方法)

第20条 修了者管理については、次により行う。

- (1) 修了者を修了者台帳に記載し永久保存するとともに、東京都が指定した様式に基づき知事に報告する。
- (2) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

(公表する情報の項目)

第21条 東京都介護職員初任者研修事業実施要綱8に規定する情報の公表に基づき、当法人の日本女子体育大学附属二階堂高等学校のホームページ(URL: <http://www.nikaido-hs.com/>)において開示する内容は、以下のとおりとする。

(1) 研修機関情報

法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名、事業所の名称、事業所の住所、理念、学則、研修施設、設備、在籍講師数(専任・兼任別)

(2) 研修事業情報

研修概要(対象、研修スケジュール、定員、実習の有無、研修受講手続、費用、留意事項)、研修カリキュラム(科目別シラバス)、修了評価(評価方法、評価者、再履修の基準)、実績情報(過去の研修実績回数、研修修了者数)、連絡先等(申込み先、資料請求先、苦情対応部署の連絡先)

(研修事業執行担当部署)

第22条 本研修事業は当法人日本女子体育大学附属二階堂高等学校保健福祉コースにて執行する。

(その他留意事項)

第23条 研修事業の実施に当たり、次のとおり必要な措置を講じることとする。

(1) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。

苦情対応部署：日本女子体育大学附属二階堂高等学校

保健福祉コース受講生担当窓口 電話03-3322-9152

(2) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。

(3) 受講者等が実習等で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

(施行細則)

第24条 この学則に必要な細則並びにこの学則に定めのない事項で必要があると認められる時は、当法人がこれを定める。 ら

(附則)

この学則は平成31年1月28日から施行する。

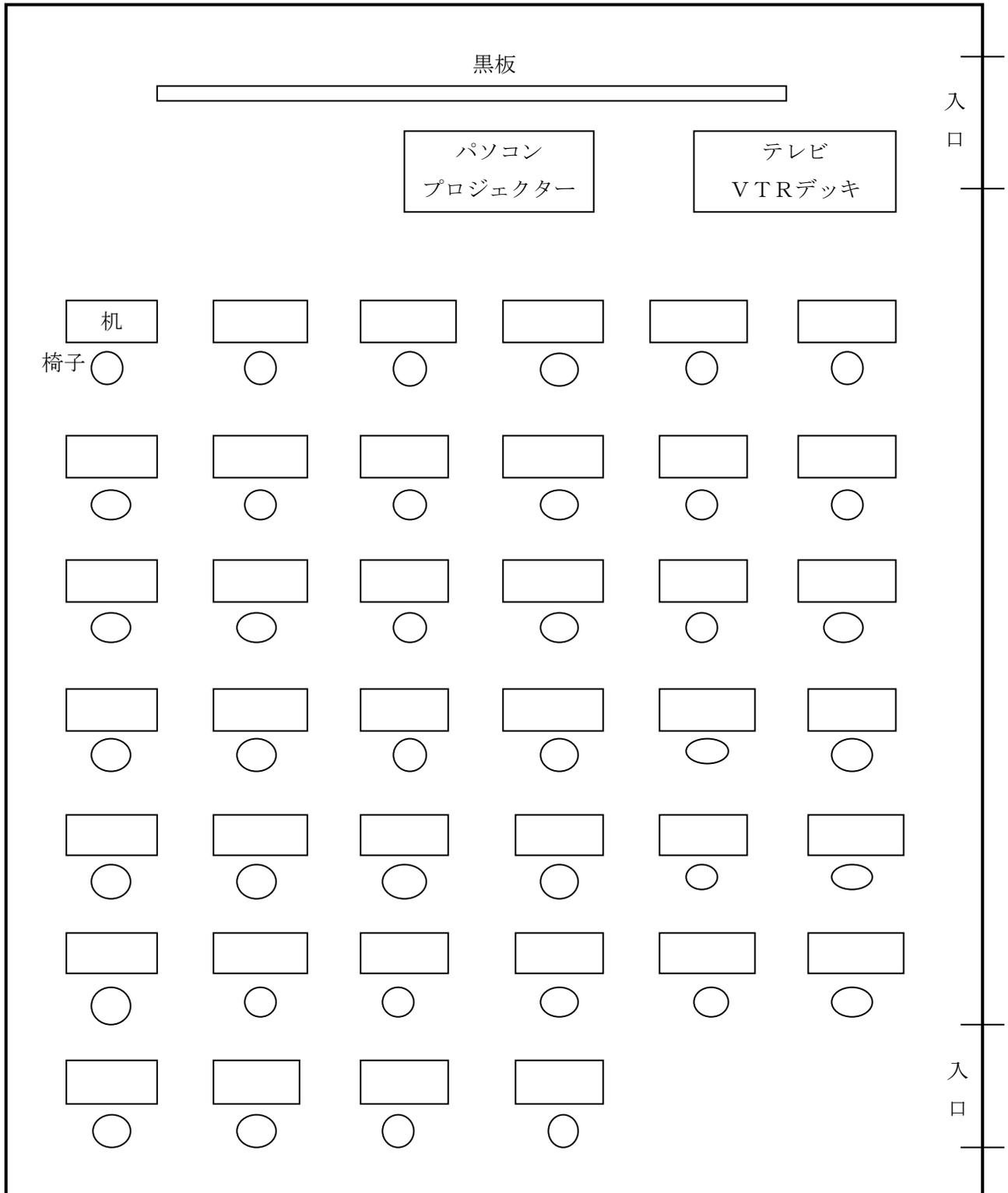
会場見取図

1 講義会場

名称： 日本女子体育大学附属二階堂高等学校 教室

所在地： 東京都世田谷区松原2丁目17番22号

面積： 60㎡（1人当たり 1.5㎡）



別記第1号の4様式

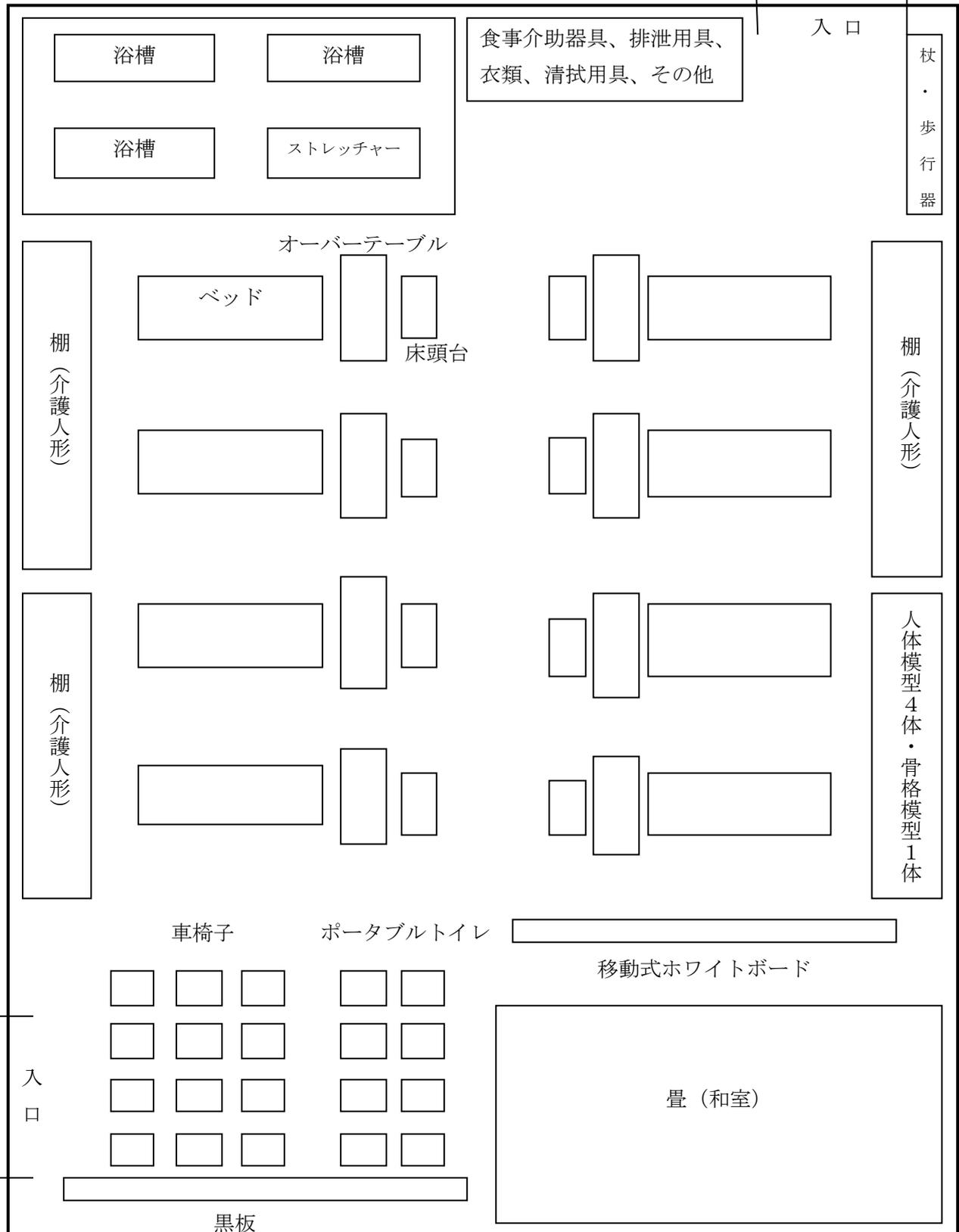
2 演習会場

名称： 日本女子体育大学附属二階堂高等学校 教室

所在地： 東京都世田谷区松原2丁目17番22号

面積： 168㎡（1人当たり 4.2㎡）

備品・教材：介護用ベッド8台、車椅子12台、ポータブルトイレ8台、浴槽3台



研修日程表

事業者名： 学校法人 二階堂学園

研修期間： 平成31年4月19日～平成32年3月31日

平成31年度 第1回

区分	研修日	研修時間	時間数 ※1	科目 (項目・科目番号、科目名)	講師名	会場
4/19(金)		10:40～11:30	3.3 (200)	1(1)多様なサービスの理解	堀越 照通	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15				
4/26(金)		10:40～11:30	3.3 (200)	1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	堀越 照通	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15				
5/10(金)		10:40～11:30	3.3 (200)	2(1)人権と尊厳を支える介護①	武 みつ子	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15				
5/17(金)		10:40～11:30	2.5 (150)	2(1)人権と尊厳を支える介護②	武 みつ子	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
5/24(金)		10:40～11:30	3.3 (200)	2(2)自立に向けた介護	武 みつ子	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15				
5/31(金)		10:40～11:30	1.7 (100)	3(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	堀越 照通	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15	1.7 (100)	3(2)介護職の職業倫理	堀越 照通	
		14:25～15:15				
6/7(金)		10:40～11:30	2.5 (150)	3(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	堀越 照通	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15	0.8 (50)	3(4)介護職の安全	堀越 照通	
6/14(金)		10:40～11:30	3.3 (200)	4(1)介護保険制度	内山 彰吾	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15				
6/21(金)		10:40～11:30	2.5 (150)	4(2)障害福祉制度及びその他制度	内山 彰吾	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
6/28(金)		10:40～11:30	3.3 (200)	4(3)医療との連携とリハビリテーション	栗沢 広之	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15				
7/12(金)		10:40～11:30	3.3 (200)	5(1)介護におけるコミュニケーション	武 みつ子	
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15				

講義・演習（実習）	7/19(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	5(2)介護におけるチームのコミュニケーション	武 みつ子
		11:40～12:30			
		13:25～14:15			
		14:25～15:15			
	7/22(月)	8:40～9:30	3.3 (200)	6(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	鈴木 千鶴
		9:40～10:30			
		10:40～11:30			
		11:40～12:30			
	7/23(火)	8:40～9:30	3.3 (200)	6(2)高齢者と健康	鎌田 恵
		9:40～10:30			
		10:40～11:30			
		11:40～12:30			
	7/24(水)	8:40～9:30	0.8 (50)	7(1)認知症を取り巻く状況	鎌田 恵
		9:40～10:30	2.5 (150)	7(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	鎌田 恵
		10:40～11:30			
		11:40～12:30			
	9/13(金)	10:40～11:30	2.5 (150)	7(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	鈴木 千鶴
		11:40～12:30			
		13:25～14:15			
14:25～15:15		0.8 (50)	7(4)家族への支援	鈴木 千鶴	
9/20(金)	10:40～11:30	0.8 (50)	8(1)障害の基礎的理解	鎌田 恵	
	11:40～12:30	1.7 (100)	8(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	鎌田 恵	
	13:25～14:15				
	14:25～15:15	0.8 (50)	8(3)家族の心理、かかわりの支援の理解	鎌田 恵	
9/27(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(1)介護の基本的な考え方	鈴木 千鶴	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
10/4(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解	濱本 美乃	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
10/11(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(4)生活と家事	濱本 美乃	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
10/25(金)	10:40～11:30	4.2 (250)	9(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	濱本 美乃	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
	15:25～16:15				
11/1(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(5)快適な居住環境整備と介護	栗沢 広之	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
11/8(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
11/15(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護①	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				

日本女子体育大学附属二階堂高等学校 教室 ※2

講義・演習（実習）	11/22(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】
		11:40～12:30			
		13:25～14:15			
		14:25～15:15			
	11/29(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	西 和子 今福 千代子【補助講師】 濱本 美乃【補助講師】
		11:40～12:30			
		13:25～14:15			
		14:25～15:15			
	12/6(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】
		11:40～12:30			
		13:25～14:15			
		14:25～15:15			
	12/13(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】
		11:40～12:30			
		13:25～14:15			
		14:25～15:15			
	12/18(水)	8:40～9:30	3.3 (200)	9(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】
		9:40～10:30			
		10:40～11:30			
		11:40～12:30			
1/10(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
1/15(水)	14:25～15:25	1 (60)	実習オリエンテーション	学校法人 二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂 高等学校 教員	
1/17(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
1/24(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(11) 睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	西 和子 今福 千代子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
1/31(金)	10:40～11:30	2.5 (150)	9(12) 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	河崎 広一	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
1/27(月)～1/30(木)の内1日 又は2/3(月)～6(木)の内1日		8 (480)	介護実習	特別養護老人ホームよつや苑 他 各実習施設	
1/27(月)～1/30(木)の内1日 又は2/3(月)～6(木)の内1日		4 (240)	ホームヘルプサービス同行訪問	ホームヘルパーステーション よつや苑 他 各実習施設	
2/7(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(13) 介護過程の基礎的理解	今福 千代子 西 和子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
2/14(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(14) 総合生活支援技術演習①	今福 千代子 西 和子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				
2/21(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	9(14) 総合生活支援技術演習②	今福 千代子 西 和子【補助講師】 瀧浪 美也子【補助講師】	
	11:40～12:30				
	13:25～14:15				
	14:25～15:15				

日本女子体育大学附属二階堂高等学校

教室

※2

講義・演習（実習）	2/28(金)	10:40～11:30	3.3 (200)	10(1)振り返り	武 みつ子	日本女子体育大学附属二階堂 ※2
		11:40～12:30				
		13:25～14:15				
		14:25～15:15				
	3/11(水)	8:40～9:30	0.8 (50)	10(2)就学への備えと研修修了後における継続的な研修	武 みつ子	
		9:40～10:40	1 (60)	筆記試験	学校法人 二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂 高等学校 教員	
	3/31(土)	9:00～9:30	0.5 (30)	修了式	学校法人 二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂 高等学校 教員	

※1 ただし、（ ）外は時間単位、（ ）内は分単位で記載。

※2 ただし、実習オリエンテーション及び実技演習については、日本女子体育大学附属二階堂高等学校介護実習室で行う。

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）	
講義・演習（実習）	
1 職務の理解	6 時間
(1) 多様なサービスの理解	
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間
(1) 人権と尊厳を支える介護	
(2) 自立に向けた介護	
3 介護の基本	6 時間
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	
(2) 介護職の職業倫理	
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	
(4) 介護職の安全	

実施計画		
カリキュラム名・時間数		実施内容
1 職務の理解	6. 6時間 (400分)	1 職務の理解
(1) 同左	3. 3 (200)	(1) 講義のみ
(2) 同左	3. 3 (200)	(2) 講義及び演習：視聴覚教材の使用と、講師の体験談を聞き、業務内容及び業務へ取り組む姿勢について感想をワークシートにまとめた後、クラス全体で一人ずつで発表する。
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9. 1時間 (550分)	2 介護における尊厳の保持・自立支援
(1) 同左	5. 8 (350)	(1) 講義のみ
(2) 同左	3. 3 (200)	(2) 講義及び演習：自立・自律についての講義を行うとともに、介護への抵抗がみられるOさんの事例を通して具体的な個別支援について話し合いグループごとに模造紙にまとめ発表する。
3 介護の基本	6. 7時間 (400分)	3 介護の基本
(1) 同左	1. 7 (100)	(1) 講義及び演習：専門職及び関連専門職についての講義を行うとともに、Aさん（75歳パーキンソン病在宅療法）の事例に関わる専門職についてグループで話し合いレポートにまとめる。
(2) 同左	1. 7 (100)	(2) 講義のみ
(3) 同左	2. 5 (150)	(3) 講義のみ
(4) 同左	0. 8 (50)	(4) 講義のみ

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9 時間	
(1) 介護保険制度	
(2) 障害福祉制度及びその他制度	
(3) 医療との連携とリハビリテーション	
5 介護におけるコミュニケーション技術 6 時間	
(1) 介護におけるコミュニケーション	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解 6 時間	
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	
(2) 高齢者と健康	
7 認知症の理解 6 時間	
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9. 1時間 (550分)	
(1) 同左	3. 3 (200)
(2) 同左	2. 5 (150)
(3) 同左	3. 3 (200)
5 介護におけるコミュニケーション技術 6. 6時間 (400分)	
(1) 同左	3. 3 (200)
(2) 同左	3. 3 (200)
6 老化の理解 6. 6時間 (400分)	
(1) 同左	3. 3 (200)
(2) 同左	3. 3 (200)
7 認知症の理解 6. 6時間 (400分)	
(1) 同左	0. 8 (50)
(2) 同左	2. 5 (150)
(3) 同左	2. 5 (150)
(4) 同左	0. 8 (50)

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
(1)	講義及び演習：制度についての講義を行うとともに、事例を用いて利用申請からサービス提供までのプロセスについて個人でレポートにまとめる。
(2)	講義のみ
(3)	講義のみ
5 介護におけるコミュニケーション技術	
(1)	講義のみ
(2)	講義及び演習：記録の意義・目的についての講義を行うとともに、事例（パーキンソン病 9 2 歳 女性 要介護 4）について記録の記載方法について学び個人で記録用紙をまとめる。
6 老化の理解	
(1)	講義のみ
(2)	講義及び演習：6(1)の講義に基づいて高齢者に多い病気の予防について話し合いを行う。また、道具を使用し高齢者の体験を行いグループで体験レポートを模造紙にまとめる。
7 認知症の理解	
(1)	講義のみ
(2)	講義のみ
(3)	講義及び演習：視聴覚教材（認知症利用者の生活の様子）を用いて実際の症状・対応等について個人でワークシートにまとめる。
(4)	講義のみ

8 障害の理解	3 時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	7 5 時間
ア 基本知識の学習	10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50~55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	

8 障害の理解	3. 3時間 (200分)
(1) 同左	0.8 (50)
(2) 同左	1.7 (100)
(3) 同左	0.8 (50)
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	75. 3時間 (4520分)
ア 基本知識の学習	10. 8時間 (650分)
(1) 同左	3.3 (200)
(2) 同左	3.3 (200)
(3) 同左	4.2 (250)
イ 生活支援技術の講義・演習	54. 5時間 (3270分)
(4) 同左	3.3 (200)
(5) 同左	3.3 (200)
(6) 同左	3.3 (200)
(7) 同左	6.7 (400)

8 障害の理解	
(1) 講義のみ	
(2) 講義のみ	
(3) 講義及び演習:8(2)の授業をもとに予想される家族のころの変化や困難について話し合う。また話し合いをもとに支援の方法についてグループでまとめ、口頭で発表する。	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 講義のみ	
(2) 講義のみ	
(3) 講義及び演習:視聴覚教材を使用し、からだのしくみの基礎的理解を深めるとともに、ファミリーライフサイクルの変化(大正→昭和→平成)について調べ個人でレポートにまとめる。	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 講義のみ	
(5) 講義及び演習:福祉用具の種類及び使い方を説明し、据え置き式リフトについて実技演習を行った後、個人で使用法と介護現場での活用場面についてレポートをまとめる。	
(6) 講義及び演習:前開きのパジャマ、かぶりの洋服を利用しての着脱及びベッド上でのゆかたの交換、顔とからだの清拭と歯磨きの実技演習を行う。	
(7) 講義及び演習:移動・移乗について基本的な介助方法について講義及び実技演習を行う。また、演習を通しボディメカニクスについて説明し、それらを活用した介助方法についてグループで検討し、レポートにまとめる。	

(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	
(実習)※ (50～55時間中12時間以内)	
介護実習 ○時間	
ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間	
在宅サービス提供現場見学 ○時間	
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	
(13) 介護過程の基礎的理解	

(8) 同左	6.7 (400)
(9) 同左	6.7 (400)
(10) 同左	6.7 (400)
(11) 同左	3.3 (200)
(12) 同左	2.5 (150)
(実習)※	12時間 (720分)
同左	8 (480)
同左	4 (240)
ウ 生活支援技術演習	10時間 (600分)
(13) 同左	3.3 (200)

(8)	講義及び演習:全介助が必要な利用者を想定した食事介助の実技演習及び、食食用自助具を利用した食事介助、とろみ剤を使用した水分補給の実技演習を行う。
(9)	講義及び演習:清拭及びケリーパットを使用したベッド上での洗髪の実技演習を行う。
(10)	講義及び演習:ポータブルトイレを使用した排泄介助及び様々な種類のおむつの使用・交換方法、陰部洗浄の実技演習を行う。
(11)	講義及び演習:睡眠のメカニズム、睡眠時の注意点について説明し、快適な睡眠のための環境整備と睡眠時の安楽な体位、褥瘡の予防について実技演習を行う。
(12)	講義及び演習:尊厳ある「死」と終末期のケアについての講義を行うとともに、事例や視聴覚教材を用いて話し合い、家族及び利用者への関わり方について個人でレポートにまとめる。
(実習)※	
	各施設で実習を行う。
	各施設で実習を行う。
ウ 生活支援技術演習	
(13)	講義及び演習:情報の整理、アセスメント、介護計画の立案、実施、評価、修正の流れを個人でレポートにまとめる。

	(14) 総合生活支援技術演習		(14) 同左	6.7 (400)	(14) 講義及び演習:9(13)で学んだことを念頭におきながら①80歳 女性 要介護5 右片まひ 失語症 ②88歳 女性 要介護2 アルツハイマー型認知症 ③81歳 女性 多発性脳梗塞 軽度認知症 ④88歳女性要介護5 アルツハイマー型認知症、糖尿病の利用者について、アセスメント・自立に向けた介護過程の展開について実技演習を交えながら検討を行う。また検討を基に食事介助・買い物・尿失禁・おむつ交換の場面の対応について各グループごとに口頭での説明と実技を交えた発表を行う。
10 振り返り	4 時間	10 振り返り	4.1 時間 (250分)	10 振り返り	
	(1) 振り返り		(1) 同左	3.3 (200)	(1) 講義及び演習:実習を通して学んだことを振り返る。また実習中のケースについて検討・振り返りを行う。介護技術・コミュニケーションにおける課題についてレポートにまとめ全体での発表を行う。
	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		(2) 同左	0.8 (50)	(2) 講義のみ
追加カリキュラム					
計 (130 時間)		計 (134.5 時間 8070分)			

※「9こころとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。